RIAJ
Recording Industry Association of Japan

The Record

October
2012
vol.635

知ってほしい「音楽と著作権」～著作権啓発のいま

「ＳＴＯＰ！違法ダウンロード広報委員会」設立

70 Anniversary

Monthly News Digest

Contents

Monthly News Digest 1

特 集
知ってほしい「音楽と著作権」
～著作権啓発のいま 3

特 報
平成 24 年度一般社団法人日本レコード協会
寄附講座「コンテンツビジネスと法」
横浜国立大学にて開講 8

「STOP! 違法ダウンロード広報委員会」設立 9

2012 年度 CD レンタル店実態調査 11

Monthly Production Report 13

GOLD DISC 14

このエルマークは、レコード会社・
映像製作会社が提供するコンテンツを
示す一般社団法人 日本レコード協会の
登録商標です

8/10
「中野区ハイティーン会議」メンバーの中高生、当協会を訪問 著作権法改正などを取材

８月 10 日、中野区に在学または在住の中高生で構成される「中野区ハイティーン会議」メンバーの中高生 8 名が来協した。同会議は中野区の事業の一環として実施しているもので、中高生のメンバーが興味のあるテーマについて取材を行いながら理解を深め、発表会でその結果を報告するという活動を行っている。

今年度は「若者のインターネット利用」をテーマとするため、当協会に取材の申し入れがあった。当日は、違法な音楽利用の実態やその対策をはじめ、著作権法改正による「私的違法ダウンロード罰則化」などについて、当協会広報部の米内課長補佐、小峰部員が説明を行った。訪問したすべての学生から質問が飛び交うなど、熱心な議論が行われ、特に、今年度のテーマ設定のきっかけとなった著作権法改正に関する質問が相次ぎ、学生の関心の高さが垣間見られた。

8/28
芸団協主催「実演芸術の海外発信に関する研究会」にて講義

８月 28 日、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会（芸団協）が会員を対象に実施する「実演芸術の海外発信に関する研究会」が行われ、第一回のテーマとして「日本レコード産業の海外展開の取り組み」について当協会の阿部海外担当調査役が講義を行った。同研究会は、芸団協が実施している「もっと文化を!」キャンペーンの展開・活動を受けて、さらにコンテンツごとの研究を深めたいという目的で開催されたものである。

講義の中では当協会が中国で認証機関に認可されるまでの経緯をはじめ、日本の各省庁・団体と連携した取り組みや、海外での違法対策などについて説明がなされた。参加者からは、中国のコンテンツ産業の状況や韓国の海外展開の事例など、アジア近隣諸国に関するものを中心に数多くの質問が寄せられた。

9/4
コンテンツ海外流通促進機構 創立10周年記念 パーティー開催

９月４日、東京都千代田区の東京會舘において、当協会が加盟する一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構

(CODA)の創立 10 周年記念パーティーが開催された。

冒頭の開会挨拶で桐畑敏春代表理事は、「2002 年の設立以来、CODA は海外におけるコンテンツの流通促進と、その障壁となる海賊版などの侵害対策を目的に活動を続けており、大きな成果を上げている」と報告、関係各所の支援に感謝の意を表した。

続いて来賓として招かれた、内閣官房 知的財産戦略推進事務局 内山俊一事務局長、経済産業省 今林顯一商務情報政策局付大臣官房審議官、文化庁 河村潤子次長より、それぞれ挨拶がなされた。

引き続き、初代 CODA 代表の株式会社角川グループホールディングス 角川歴彦取締役会長の挨拶の後、前 CODA 代表の東宝株式会社 高井英幸相談役が乾杯の発声を行い、歓談の時間となった。歓談中には、後藤健郎専務理事より『CODA 10 年の歩み』として、これまでの活動報告とあわせて共同エンフォースメントの強化、正規流通の実現など今後の目標が発表された。当日は、CODA 会員、関係各省庁や団体の方々など 113 人が出席し、北川直樹副代表理事の中締めをもって盛会のうちに終了となった。

9/7 「文化芸術政策を充実し、国の基本政策に据えることに関する請願」が第180回通常国会で採択

9 月 7 日、第 180 回通常国会において、「文化芸術政策を充実し、国の基本政策に据えることに関する請願」が衆参両院において採択された。文化芸術政策の充実を求める国会請願が採択されるのは国会史上初めてである。

請願署名は、2010 年「もっと文化を！」キャンペーンで全国から 63 万筆の署名が提出されたことを受け、再度呼びかけ人を中心に本年 2 月緊急に 1 万筆が集められ、4 月に文化芸術推進フォーラムより、超党派音楽議員連盟役員および衆参両院に託された。

「国は、文化芸術の力を生かした震災復興と地域社会の活力を生み出す文化芸術政策を充実し、国の基本政策に据えてください」と掲げた請願事項は以下のとおり。

[請願事項]

一、国民の実演芸術創造と享受の機会を拡充してください。
一、被災地の文化の振興のための施策を充実し、地域社会の復興を進めてください。
一、芸術組織が、その専門性を発揮し、持続的に発展していける助成制度をさらに充実してください。
一、人々が、みて、きいて、体験できる実演芸術拠点を充実させるための法整備の検討を進めてください。
一、観光、産業などへの波及効果を視野に入れ、多彩、多様な文化芸術の振興を、国の成長戦略として位置づけてください。
一、以上の政策を推進するために必要な予算を確保してください。

詳細は「もっと文化を！」ウェブサイト（http://www.motto-bunka.com/nakami/news/20120907.htm）に記載。

内閣府大臣官房政府広報室が運営する、
暮らしに役立つ政府広報ポータルサイト「政府広報オンライン」において、
10 月 1 日施行の著作権法改正に関する情報が掲載されています。

詳細は下記 URL をご覧ください。
http://www.gov-online.go.jp/useful/article/200908/2.html

RIAJ2012年9月度理事会議案

審議事項

1. 貸レ使用料分配規定類の改定について

報告事項

1. 名義申請に関する件
   （1）AAA（Act Against AIDS）2012 年度後援名義使用依頼（AAA 運営事務局）の件
   （2）「アニメ・ビジネス・パートナーズ・フォーラム」協力名義依頼（日本動画協会）の件
2. 罰則化関係報告
   （1）音楽関係 7 団体による「STOP! 違法ダウンロード広報委員会」設立ならびに広報施策について
   （2）違法ダウンロード罰則化に伴う店頭周知キャンペーンについて
   （3）エルマークの改善などの進捗について
   （4）「STOP! 違法ダウンロードの集い」開催について
3. マーケティング委員会関係報告
   （1）需要拡大 WT 報告（店頭試聴機導入支援、大人の音楽、高音質 / 高品質 Disc）
   （2）2012 年 CD レンタル店調査について
4. 広報委員会関係報告
   （1）第 27 回「日本ゴールドディスク大賞」実施概要ならびに第 28 回企画案について
5. その他報告
   （1）公益目的支出計画の実施完了報告
   （2）予算委員会の委員構成について

知ってほしい「音楽と著作権」～著作権啓発のいま

「私的違法ダウンロードの罰則化」に係る改正著作権法が本年10月1日より施行された。

多感な年頃の若者が、より多くの音楽に触れ、お気に入りの1曲を見つける機会としてインターネットは有用なツールである。お気に入りの１曲、お気に入りのアーティストを見つけることで世界が拡がる体験は、何ものにも代え難いものである。一方で、膨大な数の違法配信が横行している現状を鑑み、多くの若者が、正しい理解のもとに音楽と接することができるよう、当協会では改正法周知に向けた様々な取り組みを行っている。

なかでも、コアな音楽ユーザーである若年層に、音楽産業の創造のサイクルとともに音楽著作権の重要性を訴える場として、従来より中高生を対象に実施してきた「職場訪問」は重要な役割を果たしている。

本号では、著作権啓発の一環である「職場訪問」について、各レコード会社における取り組みを中心に紹介する。

職場訪問とは

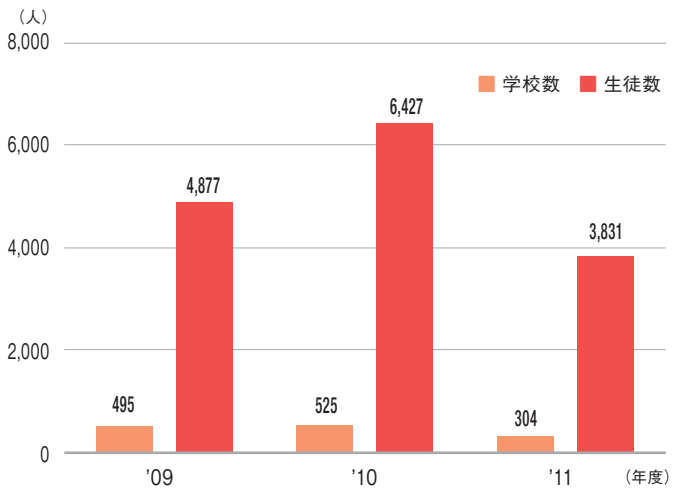
ねらい

学生が事業所などの職場を訪問し、職業や仕事の現場を体験すること、また、現場で働く人々と接することで、働くことの意義や多様な職業の理解を深め、自身の将来について考える学習活動。
計画から訪問までを生徒自らの力で進める経験を通して、一般社会のルールを身につけるとともに、責任感と主体性を培う。
修学旅行の際の班別研修、体験学習の一環などとして、学生が興味を抱いた企業を訪問する。

当協会および会員社実施状況

当協会および多くの会員社では、職場訪問を、仕事の魅力を訴え著作権教育を直接行える貴重な場と捉え、積極的に受け入れを行っている。特に、2009年度以降は「職場訪問リレーション・システム」を構築し、当協会から職場訪問を実施する各会員社への斡旋を行う連絡体制が取れるようになり、スムーズな受け入れが行えるようになった。修学旅行シーズンを軸に年間を通して、修学旅行生・近郊の中高生の受け入れを行っている。

［職場訪問・出張授業対応実績］



［内訳］その他は大学生、専門学校生など

学校数	中学校	高校	その他	合計
2009年	403	86	6	495
2010年	400	108	17	525
2011年	215	75	14	304

生徒数	中学校	高校	その他	合計
2009年	3,394	1,106	377	4,877
2010年	3,768	1,484	1,175	6,427
2011年	2,183	1,533	115	3,831

※2011年は東日本大震災の影響で関東地方への修学旅行のキャンセルが相次いだため減少したが、問い合わせ件数、職場訪問リレーション対応件数から本年は回復傾向にあると感じられる

各社の取り組み

日本コロムビア株式会社
管理本部管理統括部　部長　加倉井浩一氏

（プログラム）

南麻布オフィスのスタジオおよびアーカイブ室で実施

1. 蓄音機でSPレコード鑑賞
2. レコードのデジタル化（アーカイブ化）の作業説明、見学
3. 過去の添付物素材（写真など）の説明、見学
4. 新譜マスタリング中のスタジオ見学、説明
5. 著作権教育用DVD*1 鑑賞
6. 質疑応答

（学生さんの反響）

・音楽がどのように商品になるかがわかって、ためになった。
・違法ダウンロードのことは今までよく知らなかったし、意識もしていなかった。これからは気を付けたい。
・レコード盤や蓄音機など、たぶん親も見たことのないものを初めて見られて楽しかった。

など、おおむね好評に受け取られていると思います。

（担当者コメント）

南麻布のオフィスでは、蓄音機、SPレコード盤をはじめ、多くのアーカイブ品を保有しており、見学される学生さんは「初めて見るもの、聴くもの」ばかりでとても新鮮な様子です。

今後は、普段聴いているCDを持参してもらい、スタジオのプロ用機器による再生音と、イヤフォンで聴く音との違いを体感してもらおうと考えています。

キングレコード株式会社
人事総務部　グループ長　五郎丸洋介氏

（プログラム）

1. 会社紹介（会社概要、所属アーティスト・作品の紹介、PV鑑賞）
2. 音楽ＣＤができるまで（CDの制作過程を説明）
3. 音楽著作権について
   - 著作権教育用DVD*1 鑑賞、違法ダウンロード禁止啓発説明
4. 音楽スタジオ見学
   - キング関口台スタジオのレコーディングブースなどを見学

（学生さんの反響）

学生さんのほとんどは中学生です。当初は緊張していても、彼らが見聞きしたことのあるアーティストへの反応は高いです。また、後日いただく感想文を読むと、スタジオ施設の見学も印象深いようです。

（担当者コメント）

訪問した学生さんと話していると、CDなどパッケージ商品との距離が以前より遠くなってきているのを感じます。一方、音楽業界に興味のある学生は非常に多いです。今後も違法配信行為禁止への啓発も含め、積極的に取り組んでいきたいです。

株式会社テイチクエンタテインメント
人事総務部　人事総務グループ　大塚良氏

（プログラム）

1. 音楽著作権について
   - 著作権教育用DVD*1 鑑賞、音楽CDと著作権資料*2の説明
2. 制作ディレクターによるレクチャー
   - 音源制作 から 一般のユーザーが音源を入手するまで
   A) ① 制作　② 宣伝　③ 販促　④ 営業
   それぞれのポイントを説明
   B) 質疑応答（事前に学生さんからの質問を入手し、レクチャー担当ディレクターへフィードバック）
3. スタジオ見学
   - 社内マスタリングスタジオ“TEMAS”見学
   - マスタリングエンジニアのレクチャー・音源試聴など

（学生さんの反響）

良好です。例年、受け入れた学校のほとんどの学生さんからお礼状を頂戴します。先生方からも好評のようで、前年来られた学校が継続して依頼されるケースが新規より多いです。違法配信や違法ダウンロード撲滅への啓発をはかると、ほとんどの学生さんは違法だと知らなかった様子です。

（担当者コメント）

例年、業務都合により４～５校しか受け入れできず心苦しいのですが、訪問される学校は中部･南東北地方に集中しています。より幅広く受け入れられればと思います。

株式会社EMIミュージック・ジャパン

総務・人事本部　広報グループ長　陳野立子氏

（プログラム）

※内容は訪問グループごとに検討

1. 会社概要・レコード会社の仕事紹介
2. 著作権、エルマークの説明
3. 著作権教育用DVD*1 鑑賞
4. 社内見学
5. 質疑応答

（学生さんの反響）

本年度、新たにA&R担当者がアーティストの楽曲への想い、制作・プロモーションの過程を紹介するプログラムを実施したところ、「アーティストや楽曲を支えるために大勢の人が動いていることがわかった」「感動してお母さんにCDを買ってもらい、今では親子で大好きな曲になっています」といった手紙をいただきました。学生さんの著作権に対する認識は年々高くなっていますが、「職場訪問」後の感想から、認識を理解や賛同につなげる機会でもあることを再認識させられています。

（担当者コメント）

「CDがあっても携帯プレーヤーやPCでしか聴かない」「好きな楽曲やアーティストとの出会いはYouTube」、そんな"音楽好き"な学生さんのリアルな声を聞ける有意義な機会でもあります。

当社の受け入れ回数はまだ少ないですが、音楽産業全体での「職場訪問」対応は、次代の音楽ファンに対する著作権啓発や音楽産業への理解につながるので、今後も継続していきたいと思います。

株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント

経営企画グループ広報チーム　アシスタント・マネージャー　石丸理佐子氏

（プログラム）

※「会社訪問プログラム」と「出張授業」の2つの体験学習プログラムを実施

「会社訪問プログラム」

1. 会社説明
2. 音楽の聴き方の変化について
3. レコード会社の仕事内容や音楽ができるまでの工程をアーティストのドキュメンタリー映像を使って説明
4. 著作権や違法音楽配信問題について説明
5. 質疑応答
6. 新人アーティストの素材を使ったグループワーク

「出張授業」

テーマ「わたしたちの音楽と著作権―音楽に関わる仕事を知ろう―」

1. レコード産業の歴史
2. レコード会社の仕事内容や音楽ができるまでの工程をアーティストのドキュメンタリー映像を使って説明
3. 著作権や違法音楽配信問題についての授業
4. 質疑応答

（学生さんの反響）

「普段音楽は聴いているけれど、こんなに多くの人が関わって作られているということを知って、驚いた」という感想を多くいただきます。

また、著作権について、言葉自体は知っているものの何が違法なのかを詳しく理解している人が少ないようです。「知ることができてよかった」という感想をいただくことが多いです。

（担当者コメント）

当社では、修学旅行生対象の「会社訪問プログラム」を2000年から、「出張授業」は2009年からスタートしております。どちらのプログラムも、音楽やアニメなどに一番敏感な中高生に対して、音楽制作の背景を知っていただくことでより一層愛着を持っていただき、それが違法音楽配信問題への意識に繋がってくれればと考えております。

ユニバーサル ミュージック合同会社

経営企画本部　広報グループ　マネージャー　佐藤智香氏

（プログラム）

1. レコード会社の仕事内容説明
   - 楽曲が世の中に出ていくまでの流れについて
2. 著作権についての考え方
3. スタジオ見学
   - エンジニア体験など

（学生さんの反響）

短時間でたくさんの内容を駆け足で紹介するプログラムにも関わらず、後日丁寧なお礼状とともに感想などが寄せられます。以下は、後日いただいたお便りからの抜粋です。

・1枚のCDを出すのにこんなに沢山の人が関わっていることを知って驚いた。
・音楽には沢山の音色が重なっていることは、大きなスピーカーで聴くまで気づかなかった。
・将来はユニバーサルと契約できるようなアーティストになりたい。

（担当者コメント）

学生さんたちにはスタジオで聴く「本物の音」の迫力が非常に印象に残るようです。大人がはっとするような質問をされることもたびたびあり、受け入れる側にとっても色々気付かされることが多いプログラムです。

少しずつですが好きな音楽・アーティストとの出逢いや、音楽業界への理解につながる一歩になればと考えています。

エイベックス･グループ・ホールディングス株式会社

総務人事本部　コーポレート広報課　渡辺明日夏氏

（プログラム）

1. これまでの当社の歩みを簡単に説明
2. 会社の沿革映像を上映
3. 音楽CDができるまで　説明
4. 仕事紹介の映像を上映
5. 著作権の説明
6. 質疑応答
7. アーティストサインやトロフィーなどの写真撮影、お土産配布

その他、「アーティストによるミニライブ」や「スタジオ見学」などを実施する場合もある。

（学生さんの反響）

「音楽CDを出すには多くの人が関わっている」ことや「アーティスト自身も売れるために多くの努力をしている」ことを知っていただくと、著作権の説明もすんなり入っているように感じます。

学生さんからは"音楽をコピーしたCDを友達に渡していましたが、これからは止めようと思いました"などのご感想をいただいております。

（担当者コメント）

学生さんの多くはニコニコ動画やYouTubeを視聴し、音楽と触れ合っているようです。そのため著作権法改正の説明を学生さんに行うと頷いている様子が伺えます。今後は、違法である認識をしてもらうとともに、教育活動の一助となるべく、本活動を続けてまいります。

一般社団法人日本レコード協会

広報部　小峰明子氏

（プログラム）

1. 著作権教育用DVD*1 を鑑賞し、音楽CDができるまでの過程や、働く人たちの熱意を伝える
2. 音楽CDと著作権資料*2　、著作権啓発リーフレット「音楽を愛するあなたに知っていてほしいマナーとルール」*3をもとに、「音楽CDができるまで」と「著作権」の説明
3. レコード協会の概要紹介
4. 質疑応答

（学生さんの反響）

1つの音楽作品ができるまでに長い時間がかけられていることに驚いた、という意見を多くいただきます。「職場訪問で著作権を守ることの大切さを学んだので、これからは違法利用に気を付けて、周囲にも呼びかけていきたい」という言葉を後日お手紙でいただいたときはきちんと伝わっていることを実感し、嬉しく感じました。

（担当者コメント）

地道な活動ではありますが、「音楽作品を生み出すことの大変さ」、そして「著作権を守ることの大切さ」について中高生に直接語りかけることで、大きな啓発効果が得られると考えています。映像や口頭の説明などで実際に働いている姿を学生に伝えることで、音楽を大切にする意識、ひいては著作権の理解が深まるように感じます。著作権は中高生には難しい内容も多いですが、まずは「音楽作品を大切にする意識」から育むことができればと考えています。

これからも中高生の職場訪問を著作権教育の貴重な機会と捉え、引き続き積極的に訪問の受け入れと訪問の周知拡大を行っていきたいです。

著作権教育ツール

当協会では「音楽の正しい楽しみ方」をより多くの音楽ユーザーに周知していただくため、音楽創造のサイクルや著作権法などの概要をまとめた各種の素材を作成し、各社の職場訪問の場などで活用いただいている。

***1著作権教育用DVD「１枚のCDができるまで」**

「1枚のCDができるまで」を、新人アーティストの発掘～レコーディング～ CD制作～宣伝～音楽配信～ CD発売・デビューまで、レコード会社の業務内容を紹介するDVD。後半は、エルマークの概要など、音楽著作権に関する説明も盛り込んである。（所要時間約20分）

***2職場訪問用資料「音楽CDと著作権」**

「音楽CDができるまで」の工程説明、「音楽産業に関する職業」「音楽創造のサイクル」「著作権について」「エルマーク」などをまとめた資料。

***3著作権啓発リーフレット**
「音楽を愛するあなたに知っていてほしいマナーとルール」
CDジャケットサイズのリーフレット。
「音楽創造のサイクル」「著作権法」などについてQ&A形式で、わかり易く解説。

※本年10月1日の著作権法改正施行に伴い、「私的違法ダウンロードの罰則化」「エルマーク紹介」などを盛り込んだ内容で、11月頃リニューアルを予定

上記「著作権教育ツールの貸し出し·提供」「レコード会社への職場訪問の取り次ぎ」および「当協会での職場訪問の受け入れ」などは、当協会公式サイトに詳細を掲載しておりますので、ご参照ください。

［レコード協会への職場訪問について］ http://www.riaj.or.jp/all_info/workplace_visit/index.html

その他の取り組み

当協会では、企業や教育機関など要望に応じて、著作権教育に関する各種セミナーや勉強会に講師を派遣するなどの対応も、随時行っている。昨年度の実施状況は以下のとおり。

月	テーマ	対象	講師・資料提供等
4	RIAJ セミナー新入社員合同研修会「レコードに関する著作権の基礎知識」	会員社新入社員	法務部楠本副部長
7	社会とつながる音楽·教育研究会「ポピュラー音楽はどのように作られているのか」	教員、教育学部学生	ソニーミュージックスタジオ見学他
8	ネットワークの発展における著作権保護セミナー「日本におけるネットワーク上の音楽に関する著作権侵害の現状と対策・今後の課題」	中国国家版権局他行政機関、中国電気通信事業者、中国動画サイト運営プロバイダ	畑理事
10	横浜国立大学寄附講座「音楽ビジネス」	横浜国立大学経済学部３・４年生	北川会長
10	立命館大学寄附講座「音楽に関する違法ダウンロードの実態と日本レコード協会の対策」	立命館大学学生	畑理事
10	CODA トレーニングセミナー「日本におけるネットワーク上の音楽に関する著作権侵害の現状と対策」	中国・青島取締機関	法務部楠本副部長
11	ほんと？ホント！フェア「クイズで学ぶ！○×クイズ」	一般	法務部見世部員
12	実験授業「プロの音作りを学ぶ」	小学６年生	高音質 / 高品質 Disc 等提供
2	社会とつながる音楽・教育研究会「音楽業界の現状について」	教員、教育学部学生、企業広報・渉外担当	広報部庄司部長、小峰部員
2	CRIC 特別研修「アジア地域 著作権・著作隣接権エンフォースメントに関する特別研修」	中国、タイ、インドネシア、スリランカ各国著作権局職員	法務部楠本副部長
3	第 70 回全日本学生児童発明くふう展「ホンモノ？ニセモノ？君はわかるかな？」	一般	CD・DVD の真製品・模倣品提供

「著作権」が心に響く場として

文部科学省が告示する新学習指導要領では**「音楽に関する知的財産権について，必要に応じて触れるようにすること。」**など、知的財産権に関する内容が初めて明記された（第2章 各教科 第5節 音楽）。同指導要領は、中学校では本年4月より、高等学校では2012年度入学生からの実施が決定しており、複数の中学・高校の音楽の教科書では、音楽著作権が扱われはじめている。なお、帝国書院の教科書「中学生の公民」では、当協会作成の上記「*3著作権啓発リーフレット」の一部が掲載されるなど、授業の現場で著作権を取り上げる動きは見られる。しかし、現場の教師の戸惑いも大きく、またカリキュラムの都合上、学校現場での著作権教育の難しさから、民間の教育ツールの必要性が高まってきている。

職場訪問を通して、中高生など多くの若年層は、「１枚のCDができるまで」など、CDの制作過程やそれに関わる多くの人々の仕事の説明を行うと、とても興味を持って受け止める様子がうかがえる。そして、その背景に存在する「音楽著作権」についてあらためて説き明かすと、さらに熱心に耳を傾け、これまで何となく知っていた「著作権」についてより身近で大切な問題としての認識が芽生えるようである。

著作権について関心や理解を深める契機となるよう、当協会では今後も引き続き、職場訪問をはじめとする著作権教育への取り組みを実施していく。

特 報 Special Report

平成24年度一般社団法人日本レコード協会寄附講座「コンテンツビジネスと法」横浜国立大学にて開講

当協会は、10月2日より横浜国立大学において平成24年度一般社団法人日本レコード協会寄附講座「コンテンツビジネスと法」を開講する。

同寄附講座は、次代を担う学生のコンテンツビジネスに対する関心を深め、知的財産・著作権制度の重要性を理解してもらうことを目的とするもので、1992年よりあわせて5大学で実施している。

今年度寄附講座も昨年度同様、横浜国立大学経済学部（http://www.econ.ynu.ac.jp/）に設置し、「コンテンツビジネスと法」をテーマに、3年生ならびに4年生を対象として半期で展開する。音楽をはじめとするコンテンツ産業の概要および相互の関係などの具体的なビジネス内容と、それを支える法制度（著作権）などについて実例を踏まえながら、講義形式で授業を進行していく。担当教員は、同大学大学院国際社会科学研究科 川瀬真教授。

講義予定は以下のとおり。

平成24年度　横浜国立大学「コンテンツビジネスと法」講義シラバス（予定）

秋学期・火曜4限（14:40～16:10）実施

回	月日	講義タイトル	講師（敬称略）
1	10月2日	オリエンテーション	横浜国立大学 大学院国際社会科学研究科 教授 川瀬真
2	10月9日	著作権制度の概要	同上
3	10月16日	日本のコンテンツビジネス戦略	経済産業省商務情報政策局文化情報関連産業課 課長 伊吹英明
4	10月23日	音楽配信ビジネス	（株）レコチョク 代表執行役社長 加藤裕一
5	10月30日	音楽ビジネス	一般社団法人日本レコード協会 会長 北川直樹
6	11月6日	音楽出版ビジネス	一般社団法人日本音楽出版社協会 会長 谷口元
7	11月13日	ヒットソングができるまで	ユニバーサルミュージック合同会社 CEO 兼社長 小池一彦
8	11月20日	チャートビジネス	オリコン（株）代表取締役社長 小池恒
9	11月27日	放送ビジネス	立教大学社会学部メディア社会学科 准教授 砂川浩慶
10	12月4日	出版とキャラクタービジネス	（株）小学館 マルチメディア局 チーフプロデューサー 久保雅一
11	12月11日	電子書籍ビジネス	（株）ブックリスタ 代表取締役社長 今野敏博
12	12月18日	映画ビジネス	松竹（株）経営情報企画部経営情報企画室 マネージャー 小林敬宜
13	1月8日	アニメと音楽のコラボレーション	（株）アニプレックス 代表取締役 夏目公一朗 同マーケティンググループ企画開発部 課長 山内真治
14	1月22日	音楽プロダクションビジネス	（株）ソニー・ミュージックアーティスツ 代表取締役会長 原田公一
15	1月29日	コンテンツをめぐる紛争	弁護士 前田哲男

日本レコード協会寄附講座

当協会は、創立50周年事業の一環として、1992年、青山学院と早稲田大学に寄附講座を開設した。これまでの実施内容は以下のとおり。

- ■ 青山学院大学　1992年～2002年「レコードと法」他　担当教員：半田正夫教授
- ■ 早稲田大学　1992年～1994年「著作権法と技術メディアの発展」他　担当教員：土井輝生教授
  2004年～2007年「コンテンツビジネスと著作権」　担当教員：鎌田薫教授、高林龍教授
- ■ 慶応義塾大学　2007年～2009年「クリエイティブ産業研究　Ⅰ・Ⅱ」担当教員：美山良夫教授
- ■ 立教大学　2008年～2010年「音楽ビジネスと法」担当教員：砂川浩慶准教授
- ■ 横浜国立大学　2011年～「コンテンツビジネスと法」担当教員：川瀬真教授

特 報 Special Report

「STOP! 違法ダウンロード広報委員会」設立

９月 10 日、一般社団法人日本レコード協会（RIAJ）、一般社団法人日本音楽事業者協会（JAME）、一般社団法人日本音楽制作者連盟（FMPJ）、一般社団法人日本音楽出版社協会（MPA）、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会実演家著作隣接権センター（CPRA）、一般社団法人演奏家権利処理合同機構 MPN（MPN）および一般社団法人映像実演権利者合同機構（PRE）の７団体は、「STOP! 違法ダウンロード広報委員会」を設立した。

当委員会は、10 月 1 日に施行となった改正著作権法のうち「私的違法ダウンロードの罰則化」に関する周知･啓発活動を展開することにより、違法ダウンロードの撲滅および著作権･著作隣接権の保護を図り、もって音楽文化の発展に寄与することを目的としている。

現在展開中の主な活動は、つぎのとおり。

「STOP! 違法ダウンロード」啓発キャンペーン特設サイトオープン

10 月 1 日より施行開始した「私的違法ダウンロードの罰則化」をより多くのユーザーに伝え、理解を深めていただくことを目的として、９月 14 日に「STOP ！違法ダウンロード」啓発キャンペーン特設サイト（PC サイト、スマートフォンサイト、フィーチャーフォンサイト）を開設。

ハッピーミュージックサイクル | STOP! 違法ダウンロード | これって違法ダウンロード？ | エルマークについて の４カテゴリーで構成され、法律の解釈とあわせて**「具体的事例で解説する Q&A」「音楽創造のサイクル」**などの情報を掲載することで、今回の改正法をより深く理解していただくことを目的としている。

「STOP! 違法ダウンロード」啓発キャンペーン特設サイト

(URL)　http://www.stopillegaldownload.jp/

ハッピーミュージックサイクル
「音楽創造のサイクル」で音楽が作られるために必要なことを説明

STOP! 違法ダウンロード
10 月 1 日から施行された改正法の内容について説明

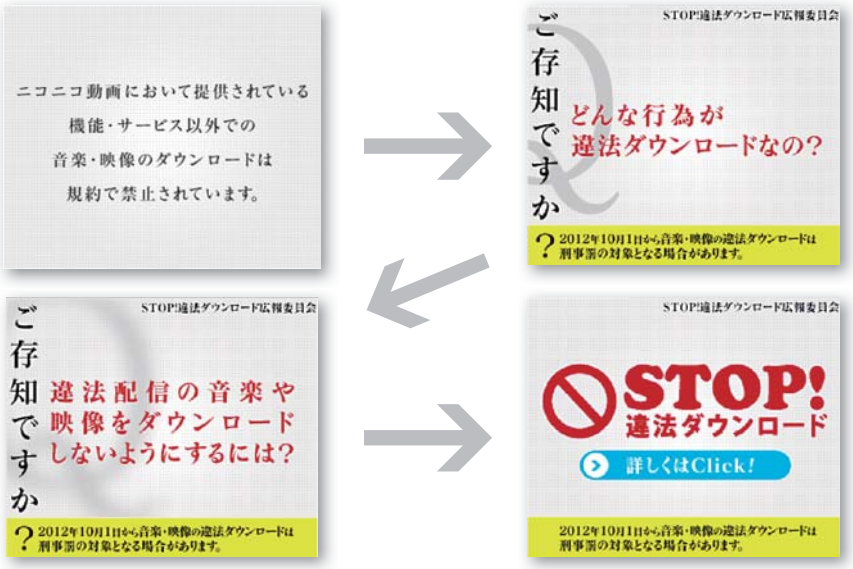
これって違法ダウンロード?
今回の改正法に関する具体的事例を Q&A 方式で解説

エルマークについて
正規配信サイトに表示されている「エルマーク」の情報を掲載

当サイトへのリンク、バナー STOP! 違法ダウンロード のご要望は、STOP! 違法ダウンロード広報委員会事務局（info@stopillegaldownload.jp）までご連絡ください。

動画共有サイトなどにおけるバナー広告掲載

10月1日より、動画共有サイトや掲示板、ブログなどにおける広告スペースに、バナー広告を掲載し注意喚起を図る。



動画サイトにおける表示バナー

「私的違法ダウンロードの罰則化」の告知とともに、「STOP! 違法ダウンロード」啓発キャンペーン特設サイトへの誘導を行う。

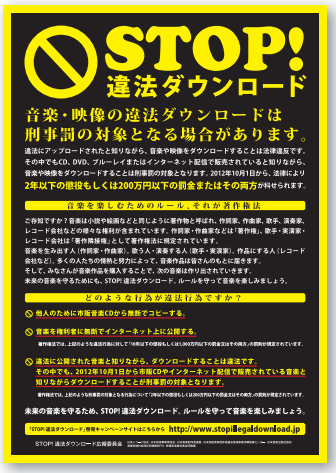
ポスター制作・配布

「私的違法ダウンロードの罰則化」の周知徹底を目的として、全国の中高校生用とCDショップ用に、2種類のポスターを作成・配布した。

〈中学校・高等学校用〉

中高生を対象とした「STOP! 違法ダウンロード」ポスター。全国の中学校、高等学校に配布を行った。

(内容)
- 違法ダウンロード罰則化
- 音楽創造のサイクル「ハッピーミュージックサイクル」の大切さ
- エルマークについて



〈CDショップ用〉

CDショップを訪れたユーザーへ「私的違法ダウンロードの罰則化」の周知を図ることを目的として、制作。CDショップ店頭へ送付し、店頭での掲示を依頼。

「STOP! 違法ダウンロード広報委員会」

■参加団体

一般社団法人日本レコード協会
一般社団法人日本音楽事業者協会
一般社団法人日本音楽制作者連盟
一般社団法人日本音楽出版社協会
公益社団法人日本芸能実演家団体協議会実演家著作隣接権センター
一般社団法人演奏家権利処理合同機構 MPN
一般社団法人映像実演権利者合同機構

(協力) 一般社団法人日本音楽著作権協会

■委員長　北川直樹(RIAJ会長)

特 報 Special Report

2012年度CDレンタル店実態調査

当協会では、全国のCDレンタル店の実態調査を、当協会調査員による訪店調査により毎年実施している。29回目となる今年は、前回同様に店舗規模・業態を勘案したサンプル調査方式で全国885店（全店2,770店：2012年6月末現在）の訪店調査を行った。

CDレンタル店の店舗数と店舗面積

CDレンタルの店舗数は、1989年末の6,213店をピークに毎年減少を続けており、昨年いったん微増に転じたものの、今年は前年比1.4%減少し、2,770店となった。（図-1）

一方、これまで長年続いてきた店舗面積の大型化傾向も、昨年比3.3%減の796平方メートルとなり、大型化傾向はほぼ終息したといえる。（図-2）

レンタル用CDの在庫状況

レンタル用CDの在庫状況については、シングル、アルバム共引き続き増加傾向にある。シングルの1店舗当たりの平均在庫数は、1,024枚と前年比5.3%の増加、アルバムの平均在庫数は、14,874枚と前年比5.6%の増加となり、この結果、総在庫数は、前年比5.6%増の15,897枚となっている。（図-3（a））

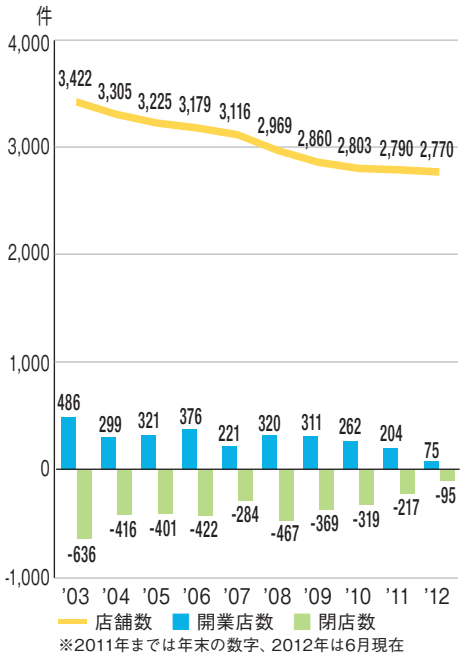
また、調査店の合計を営業店数に換算して算出した総在庫数では、シングルで前年比3.9%増の2,837,802枚、アルバムで前年比4.0%増の41,200,229枚、シングル・アルバムの合計では、44,034,825枚と前年比4.0%増となった。この結果、在庫数のシングル・アルバム比率は、6:94となっている。（図-3(b)）

なお、CDの在庫規模による店舗数分布をみると、在庫数4,000枚未満の小型店は前年と同様の1.5%、在庫数15,000枚以上の超大型店は前年比2.2%増の48.6%となり、大型店の比率が更に高まっている。（図-3(c)）

レンタル用ビデオの在庫状況

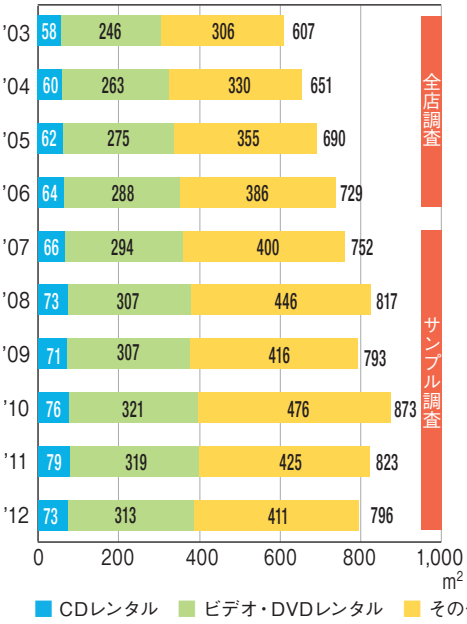
レンタル用ビデオの在庫数については、ビデオテープからDVDへの移行はほぼ完了し、ビデオテープの在庫率は、前年比7.3%減の13.9%、平均在庫数で前年比43.0%減の849枚となった。

■ 図-1：CDレンタル店数と開業・閉店の推移



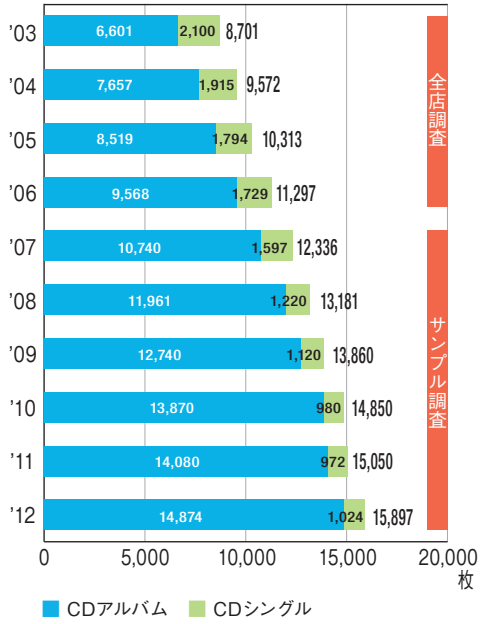
※2011年までは年末の数字、2012年は6月現在

■ 図-2：店舗面積（1店舗平均）



■ 図-3：CD在庫状況

(a) 1店舗平均在庫数



また、在庫率ほぼ 100% となった DVD については、引き続き在庫数が増加し、前年比 6.0% の 42,464 枚となった。そして、普及が進むブルーレイについては、在庫率は 98.5% となり、100% にほぼ近くなってきたが、在庫数の増加は、前年比 29.3% 増の 957 枚に留まっている。(図 -4)

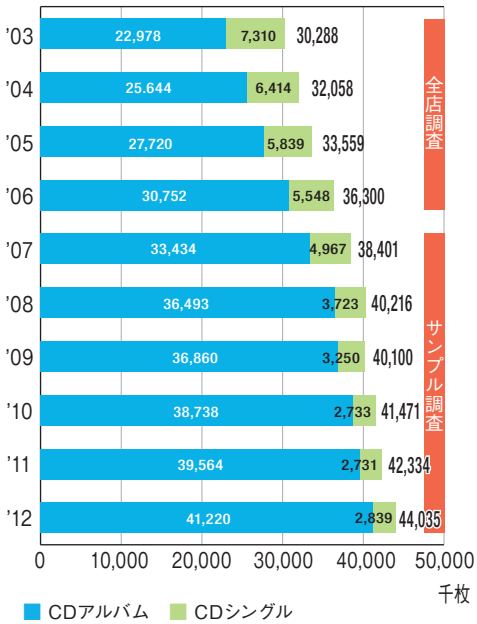
調査概要

- 調査期間：2012 年 4 ～ 6 月
- 調査方法：対象店舗への訪店調査
- 調査店数：885 店
- 調　　査：日本レコード協会企画部調査室
- 留意事項：サンプル調査のため、在庫総数は調査結果を基に全店規模を推計した

その他

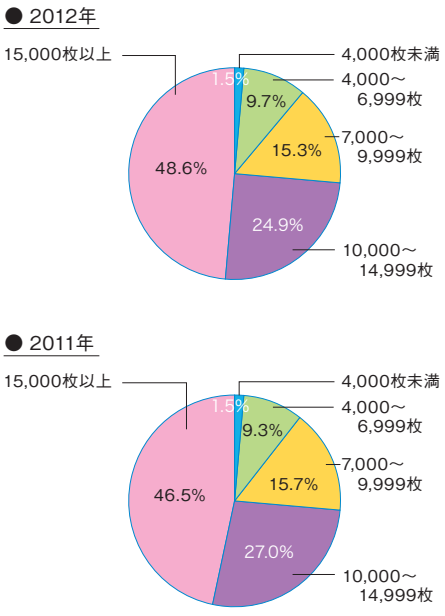
レンタル店のその他の傾向としては、店舗展開の多角化の進行が顕著である。CD、DVD のレンタル、セル、中古に加えて、書籍、ゲームのセル、レンタル、中古、その他、古着、トレーディングカード、携帯電話販売などである。このようなレンタル店の複合化の傾向は今後もますます進んでいくことが予想される。

(b) 総在庫数



※総在庫数は、1店舗平均×営業店数で推計

(c) CD在庫規模別の店舗数分布状況



■ 図-4：ビデオ在庫状況

	2012年		2011年		平均在庫数前年比
	在庫率(%)	平均在庫数(枚)	在庫率(%)	平均在庫数(枚)	
ビデオテープ	14	849	21	1,490	57%
DVD	100	42,464	100	40,044	106%
ブルーレイ	99	957	96	740	129%

※平均在庫数は在庫店の平均

2012年8月度レコード生産実績

8月度の音楽ソフト（オーディオレコード・音楽ビデオの合計）生産実績は、数量で前年同月比136%の2,849万枚・巻、金額で同144%の272億円となった。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比126%の2,212万枚・巻、金額で同122%の197億円。音楽ビデオが、数量で前年同月比187%の637万枚・巻、金額で同266%の76億円となっている。

● オーディオレコード

（数量:千枚・巻/金額:百万円）

			8月実績						2012年1月～2012年8月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
シングル	8cmCD	邦	2	0	0%	2	0	1%	39	0	1%	31	0	15%
		洋	0	0	–	0	0	–	0	0	4%	0	0	20%
		計	2	0	0%	2	0	1%	40	0	1%	31	0	15%
	12cmCD	邦	6,116	28	101%	4,082	21	89%	41,733	31	111%	29,172	21	110%
		洋	73	0	172%	102	1	340%	992	1	101%	760	1	112%
		計	6,190	28	101%	4,184	21	91%	42,725	32	111%	29,932	22	110%
	小計	邦	6,119	28	71%	4,084	21	86%	41,772	31	103%	29,203	21	109%
		洋	73	0	172%	102	1	340%	992	1	101%	760	1	111%
		計	6,192	28	72%	4,186	21	88%	42,765	32	103%	29,964	22	109%
12cmCDアルバム		邦	13,011	59	207%	13,043	66	150%	68,902	51	109%	87,046	63	104%
		洋	2,661	12	107%	2,208	11	89%	21,984	16	100%	19,914	14	88%
		計	15,672	71	178%	15,251	78	137%	90,886	67	107%	106,960	77	101%
CD合計		邦	19,129	86	128%	17,127	87	127%	110,674	82	107%	116,250	84	105%
		洋	2,734	12	108%	2,310	12	92%	22,976	17	100%	20,674	15	89%
		計	21,864	99	125%	19,437	99	122%	133,651	99	106%	136,924	99	103%
アナログディスク		邦	74	0	4574%	80	0	1698%	138	0	137%	104	0	62%
		洋	11	0	377%	16	0	403%	61	0	160%	86	0	129%
		計	85	0	1889%	96	0	1096%	199	0	144%	190	0	81%
カセットテープ		邦	142	1	103%	92	0	81%	1,258	1	88%	984	1	87%
		洋	0	0	–	0	0	–	3	0	–	1	0	–
		計	142	1	103%	92	0	81%	1,261	1	88%	985	1	87%
その他		邦	7	0	66%	9	0	76%	122	0	117%	141	0	113%
		洋	20	0	139%	37	0	112%	281	0	106%	493	0	92%
		計	27	0	108%	46	0	103%	403	0	109%	634	0	96%
合計		邦	19,353	87	129%	17,307	88	128%	112,193	83	107%	117,479	85	105%
		洋	2,765	13	108%	2,364	12	93%	23,320	17	100%	21,253	15	89%
		計	22,117	100	126%	19,672	100	122%	135,513	100	106%	138,732	100	102%

● 音楽ビデオ

		8月実績						2012年1月～2012年8月累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	邦	5,950	93	193%	6,751	89	291%	37,719	89	113%	40,659	83	106%
	洋	227	4	96%	210	3	91%	2,768	7	99%	2,905	6	87%
	計	6,177	97	186%	6,961	92	273%	40,487	96	112%	43,563	88	105%
Blu-ray Disc	邦	185	3	233%	570	8	214%	1,472	3	130%	5,145	10	166%
	洋	7	0	89%	20	0	76%	201	0	306%	537	1	269%
	計	192	3	219%	590	8	202%	1,673	4	140%	5,682	12	172%
テープ・その他		0	0	487%	1	0	780%	8	0	180%	14	0	125%
合計	邦	6,136	96	194%	7,321	97	283%	39,199	93	114%	45,817	93	111%
	洋	234	4	96%	230	3	89%	2,969	7	104%	3,442	7	98%
	計	6,370	100	187%	7,552	100	266%	42,168	100	113%	49,259	100	110%

● 音楽ソフト（オーディオ/音楽ビデオ合計）

		8月実績						2012年1月～2012年8月累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ		22,117	78	126%	19,672	72	122%	135,513	76	106%	138,732	74	102%
音楽ビデオ		6,370	22	187%	7,552	28	266%	42,168	24	113%	49,259	26	110%
合計	邦	25,488	89	140%	24,629	90	153%	151,392	85	109%	163,296	87	107%
	洋	2,999	11	107%	2,594	10	92%	26,290	15	100%	24,695	13	90%
	計	28,487	100	136%	27,223	100	144%	177,682	100	107%	187,991	100	104%

● ビデオ（含音楽ビデオ）

	8月実績						2012年1月～2012年8月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	9,124	88	120%	13,338	81	127%	66,752	87	97%	97,179	78	94%
テープ・その他	1,201	12	103%	3,121	19	95%	9,835	13	129%	28,111	22	133%
合計	10,325	100	118%	16,459	100	120%	76,586	100	100%	125,290	100	101%

● オーディオ/ビデオ合計

	8月実績						2012年1月～2012年8月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	22,117	68	126%	19,672	54	122%	135,513	64	106%	138,732	53	102%
ビデオ	10,325	32	118%	16,459	46	120%	76,586	36	100%	125,290	47	101%
合計	32,443	100	123%	36,131	100	121%	212,099	100	104%	264,022	100	101%

備考　1. 本年実績は、会員会社の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある
※オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計

GOLD DISC

2012年8月度

音楽ソフト

邦楽

アルバム

● ミリオン

1830m	AKB48	2012.08.15	K

● トリプル・プラチナ

I LOVE YOU -now & forever-	桑田 佳祐	2012.07.18	V

● プラチナ

GIFT of SMAP	SMAP	2012.08.08	V

● ゴールド

A SUMMER BEST	浜崎 あゆみ	2012.08.08	AMI

シングル

● プラチナ

ヴァージニティー	NMB48	2012.08.08	LOL
WANNA BEEEE!!! ／ Shake It Up	Kis-My-Ft2	2012.08.15	AMI

● ゴールド

風が吹いている	いきものがかり	2012.07.18	ES
0 ～ ZERO ～	三代目 J Soul Brothers	2012.08.08	AMI
ブリブリ♥SUMMERキッス	SUPER☆GiRLS	2012.07.04	AMI
Sexy, Free & Single	SUPER JUNIOR	2012.08.22	AMI
Moment	SMAP	2012.08.01	V
走れ！ Bicycle	乃木坂46	2012.08.22	SR
希望について	NO NAME	2012.08.01	K
Spending all my time	Perfume	2012.08.15	UM
BRIGHT STREAM	水樹 奈々	2012.08.01	K
ひとり長良川	水森 かおり	2012.04.04	TJC
One・Two・Three ／ The 摩天楼ショー	モーニング娘。	2012.07.04	EP

ビデオ

● ゴールド

Perfume 3rd Tour「JPN」	Perfume	2012.08.01	UM

洋楽

アルバム

● ゴールド

オーヴァーエクスポーズド	マルーン 5	2012.06.20	UM

※日付は発売日

認定基準一覧

音楽ソフト（邦・洋、アルバム・シングル・音楽ビデオ）、音楽配信（着うた®、着うたフル®、パソコンダウンロードシングル・アルバム）共通

名称	略号	基準
ゴールド	G	10万以上
プラチナ	P	25万以上
ダブル・プラチナ	PP	50万以上
トリプル・プラチナ	PPP	75万以上
ミリオン	M	100万以上
2ミリオン	2M	200万以上
3ミリオン	3M	300万以上
以降、100万ごとに賞を設定		

基準単位: 音楽ソフト・枚、配信・DL（ダウンロード）
※着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰

※ AMI: エイベックス・マーケティング / EMI: EMI ミュージック・ジャパン / EP: アップフロントワークス（ゼティマレーベル） / ES: EPIC レコードジャパン / K: キングレコード / LOL: laugh out loud! records / SE: エスエムイーレコーズ / SR: ソニー・ミュージックレコーズ / TJC: 徳間ジャパンコミュニケーションズ / UM: ユニバーサルミュージック / V: ビクターエンタテインメント

有料音楽配信（「着うた®」他）

※「着うた®」「着うたフル®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です

「着うた®」

邦楽

● トリプル・プラチナ

I SHOULD BE SO LUCKY	mihimaru GT	2007.10.16	UM

「着うたフル®」

邦楽

● トリプル・プラチナ

もっと強く	EXILE	2010.09.08	AMI

● プラチナ

プルメリア ～花唄～	Aqua Timez	2009.07.08	ES

● ゴールド

木枯しに抱かれて	小泉 今日子	2008.01.23	V
大丈夫	jimama	2009.04.22	ES
Switch On ！	土屋 アンナ	2011.09.04	AMI
疾風迅雷～命 BOM-BA-YE ～	DJ OZMA	2007.04.25	EMI
GO FOR IT !!	西野 カナ	2012.07.18	SE

「PC 配信（シングル）」

邦楽

● ダブル・プラチナ

Love Story	安室 奈美恵	2011.12.07	AMI
やさしくなりたい	斉藤 和義	2011.11.02	V

● プラチナ

I Wish For You	EXILE	2010.10.06	AMI
Ti Amo	EXILE	2008.09.24	AMI
ふたつの唇	EXILE	2009.11.11	AMI
Rising Sun	EXILE	2011.09.14	AMI
Lovers Again	EXILE	2007.01.17	AMI
銀河鉄道 999	EXILE feat.VERBAL (m-flo)	2008.03.26	AMI

● ゴールド

僕と花	サカナクション	2012.05.15	V

洋楽

● プラチナ

ビリーヴ	シェネル	2012.06.20	EMI

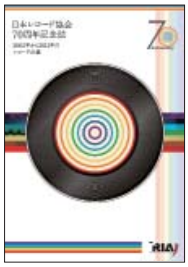
● ゴールド

ストーリー	シェネル	2012.02.29	EMI

※日付は配信開始日

協会からのお知らせ

「70周年記念誌」を発行



当協会では、本年4月30日の創立70周年を記念して「日本レコード協会70周年記念誌」を発行いたしました。
60周年記念誌以降の10年間にまつわるレコード産業の様々なトピックス、各種統計資料などを掲載しております。
本誌のPDF版については、当協会ホームページ（http://www.riaj.or.jp/issue/index.html）をご覧ください。

THE RECORD No.635　2012年10月号
一般社団法人 日本レコード協会　機関誌

発 行 人　北川 直樹
編 集 人　田口 幸太郎
発 行 日　2012年10月10日
発　　行　一般社団法人　日本レコード協会
〒105-0001　東京都港区虎ノ門2-2-5　共同通信会館9F
TEL. 03-5575-1301（代）FAX. 03-5575-1313
URL: http://www.riaj.or.jp/

制作協力　株式会社エフビーアイ・コミュニケーションズ

編集後記

先日公表された「サラリーマンのお小遣い調査」によると、2012年のお小遣いの額は【30年前と同水準】、バブルの絶頂期をピークに減少傾向とのこと。長引くデフレを背景とした消費の冷え込みは回復の兆しが見つかりません。そして、9月の終わりというのに続いた連日の猛暑から一転、天候の方でも急激な冷え込みがやってきました。コンビニで見かける栗やさつまいもなど秋のスイーツに違和感を感じていましたが、やっと暦に気温が追いついた当節です。（T）

■ 当機関誌へのご意見・ご感想がございましたら、当協会公式サイト（URL: http://www.riaj.or.jp）のお問い合せページよりお寄せください。